



浄土真宗本願寺派 慈雲山龍溪寺 奏庵

2017.1.20 発行 kanadean No. 284

かなであん

249-0002 逗子市山の根1-7-24

Tel : 046-871-1863 Fax : 046-872-3485

[http:// kanadean.net](http://kanadean.net)

mail: [ryukeiji@kanadean.net](mailto:ryukeiji@kanadean.net)



## おおらかに、そして、 少しずつ努力を…

「めでたさも中くらいなり  
おらが春」と詠んだのは一茶  
でした。その時代には想像だ  
にしなかった少子高齢化社会  
に今生きる我々には、その「中  
くらい」すら感じられなくなっ  
てきていますが、我々以上に  
次世代の未来はどうなってい  
くのだろうと思いやられる年  
明けです。

\* \* \*

今年の初詣で、「ベビーカー  
での参拝お断り」の看板を出  
した神社と参拝者への批判が  
ネット上で炎上しました。ま  
た、あるテレビ番組では、外  
国人から見て日本人のおかし  
いと思えることに「初詣」を  
挙げていて、その理由を、

年に一度、しかも願い事をしに  
だけに行くのは宗教とはいえな  
いといい、日本人の宗教観が指  
摘されていると思わせられるも  
のでした。

神仏に向かうということはどう  
いうことでしょうか。

日本人はともすれば、神や仏  
を自分だけの味方にしてしまっ  
ているのではないのでしょうか。  
それは、自分や家族にいいこと  
がありますように、災いは他に  
いってくれますように、という  
姿勢に疑問をもたず、かえって  
善行を積んだと思うような精神  
性として現れています。

\* \* \*

日本人に生まれ培われてきた  
宗教心のもとになっている仏教  
は、小乗から大乘へと、出家者  
(僧)のみならず在家者(一般  
の人々)にも、仏の教え仏の救  
いが開かれなければ意味がない

というもので、その根本には、  
一部の選ばれた者だけのもの  
ではなく、すべての人々が幸せに  
ならなければ、真の救い真の幸  
せではないというお釈迦さま以  
来の仏の願いがありました。

私たちの浄土真宗のみ教えは、  
自分を押しつけていっていた人  
にも、そこにいない人にも、あ  
らゆる人に平等に仏の慈悲が注  
がれているということをお教え  
しています。またそのお互いが、  
繰り返し煩惱のあるがままに生か  
されていることへの思いやりを  
育む教えです。私の願うことは  
周りの人も、そして世界中の人々  
も願っているのです。自分のこ  
とのみ願わず、みんなが救われ  
ていくことを願えば、そこには  
必ず自分も含まれています。

“人間の本性とは善や悪ではな  
く、悲と哀なのかもしれない”  
と宗教学者ひろさちや氏は味わっ  
ておられます。互いの悲しい性  
を認め合う、互いの逃れられな  
い哀れを思いやることによって、  
いのちとは「ありのままのおま  
かせするしかないもの」という  
おおらかな世界が開けていきま  
す。その生き方を見せていくこ  
とが、人生の先をゆく者の仕事  
(努め)なのではないかと思ひ  
ます。生きることは周りのはか  
り知れないおかげであり、自分  
自身の少しずつの努力の積み重  
ねです。本年も宜しくお願ひ  
いたします。 合掌

## 奏庵法座

日時  
1月26日(木)  
午前11時～

「真宗宗歌」

正信偈

法話

早島 理 師

北海道 大成寺住職

龍谷大学大学院教授

滋賀医科大学名誉教授

「恩徳讃」

～\*～

おとき

昨年の今頃には、まだ声も思うように発せなかったことを遠いことのように感じている我が身の愚かさや強さに気づかされる新年です。

初法座を親友の法話で迎えさせていただくことを嬉しくありがたく思います。

どうぞお参り下さい。

## 折々に頷ける詩

… 重い癌治療が続く友と  
電話で語って …

『痛みを感じるのは  
生きているから  
悩みがあるのは  
生きているから  
傷つくのは  
生きているから  
今かなり生きているぞ』

星野富弘

「いのちより大切なもの」

… 新年早々の兇悪犯罪や  
成人式騒ぎにふれて …

『闇深き  
心というより  
闇の無き薄き心の  
所業と思う』

金倉かおる

「朝日歌壇」

… 玄関先の紅梅が  
満開になって …

『なにもなにも  
小さきものは  
みなうつくし』

清少納言

「枕草子」

多くの予想を覆したトランプ氏が、いよいよアメリカ合衆国の大統領に就任する。経済至上の資本主義の恩恵が生み出してきた世界の富豪やセレブ。その申し子のようなトランプ氏が「アメリカンファースト」と叫ぶのを聞くと、意味付けに「〇〇ファースト」を使うことイコール、〇〇中心であることを感じる。■イギリスで生まれた資本主義の土台となったのは、産業革命による富の蓄積で、富がだぶつくことなしにその発展はなかったが、今その富は世界人口のほんの数パーセントが握り、富が社会全体を発展させてきた時代を過ぎ、贅沢の限りを尽くしたとしても一生で使い切れない富を掴んでも、どこまでも満たされない欲望を増長させ、格差社会は広がり、一方に寒さに震え凍死するホームレスや難民を生んでいる。有り余る富を、一枚の毛布、一杯の温かいスープに変えることができない現実を知ると、自分には無縁の富というものが、実態のない虚しいものに思われて諦めがつく。■かつてエコノミックアニマルと呼ばれた日本が、経済大国に成り上りながらも、世界レベルの偏った富豪を生んでこなかったのは、建前だけでも「金で何でも出来る。金の力で少々のことは許される」という考えを恥ずかしいものとする日本人がいたからかもしれない。しかし、その日本人も「我が子だけは」という思いには勝てなかった。そうして育てられた子が親になり、子を持ち、その孫が親となった時代。その家庭から世をリードする人間も生まれているのだ。その家族の中でも本音が語れず虚勢を張ってきたのではないだろうか。■限界にきたと言われる資本主義に代わるもの、それは新しいものではなく、経済優先で二の次にされてきた「こころの持ち方」にあるのかもしれない。仏の智慧とともにある暮らしが自然にその道に導いてくれるはず。そう願って今年も励みたい。 Norimaru

